



## 地域を考えること、地域で考えること

11月上旬に第2回学校評議員会がありました。その折に、学校評議員の皆さんと生徒会役員との懇談を行い、評議員の方々からは、「是非、地域との連携を深め、地域を理解し、リニア中央新幹線の開通にともないこれから大きく変わるであろう飯田・下伊那地域の発展に寄与してもらいたい」との大きな期待が寄せられました。生徒自治会役員も自分たちで何ができる



のかということ、先日生徒自治会長の佐藤君ら飯田高校生数名が、信濃毎日新聞主催の「結いミーティング」に参加し、何ができるのか、何をしたいのかということ、記者らと活発な意見交換をしました。

大学進学を機に県外に出ていき、そのまま県外で生活する生徒が多い本校において、生徒育成方針（ディプロマ・ポリシー）の一つに『**国内外で活躍しながら、地元地域の発展にさまざまなかたちで貢献する人**』を掲げています。この方針を実現するためには、自分の礎となっている生まれ育った故郷について学び、知り、そして行動することがとても大切だと思います。

以外に地域のことを知らない生徒が多いようですが、最近、高校においては探究活動が



重視され、本校でも“地域”をテーマとして様々な視点に立った探究活動が行っています。中には、学校の枠を越え他校の生徒とともに協働した探究活動をする“いいらぼ”のような活動もあり、生徒たちの行動力に驚くとともに今後がとても楽しみです。生徒たちのこのような活動はすでに地域貢献であり、リニア新時代を迎えるにあたってさらに大きな貢献（成果）に繋がっていくものと信じています。

## “班活動”も頑張っています

花園出場をかけたラグビー班の飯田 OIDE 長姫高校との決戦は、後半追い上げたものの惜しくも24対28で敗れてしまいましたが、来年が楽しみです。その他弓道班（男子団体県2位）、空手班（個人）、競技かるた班、剣道班（女子団体）は県大会を勝ち進み、北信越大会への出場、邦楽班は来年度の岐阜総文祭への出場が決定しました。



邦楽班の最優秀賞報告